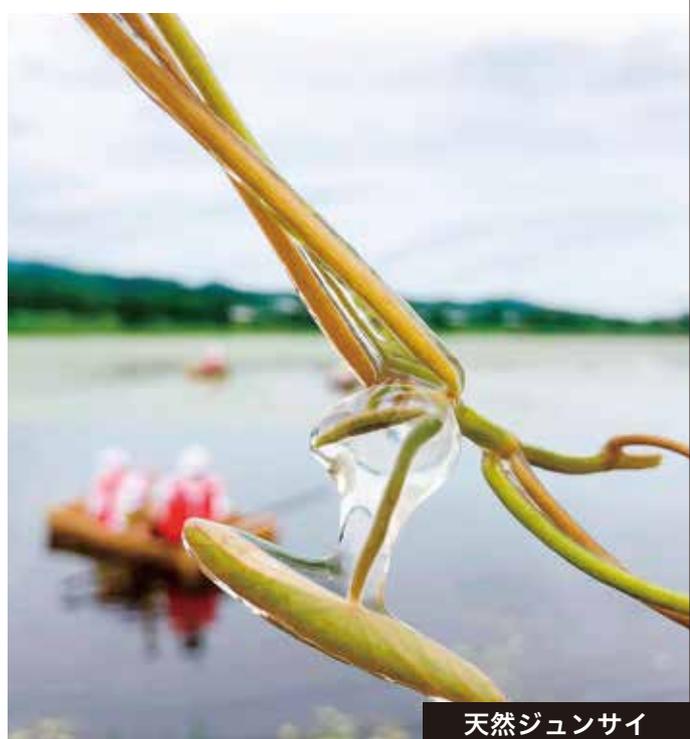


村山市地域おこし協力隊
令和3年度活動報告書



北山の桜



天然ジュンサイ



啓翁桜

各隊員の紹介



成毛 清和子

ミッション▶ 情報発信

- ◎出身地：東京都練馬区
- ◎前住所地：東京都練馬区
- ◎村山市の好きなところ：自宅から鴨の親子を見ることができること。
- ◎村山市に住んで驚いたこと：冷たい肉そば（中華）←絶品！
白鳥のV字飛行。
- ◎ひとことメッセージ：3年間、ありがとうございました。

I
ターン

磨 恵美

ミッション▶ 就農・農地承継

- ◎出身地：神奈川県横浜市
- ◎前住所地：神奈川県横浜市
- ◎村山市の好きなところ：東西に山麓があり、冬の景色はとても綺麗で好きです。
- ◎村山市に住んで驚いたこと：ラーメンや蕎麦が美味し過ぎること。
- ◎ひとことメッセージ：市内の皆さま、今後ともよろしく願います。
県外の方は、是非一度、村山市に来て下さい！

I
ターン



小関 恵子

ミッション▶ 『Link MURAYMA』管理、運営、広報

- ◎出身地：山形県東根市
- ◎前住所地：東京都新宿区
- ◎村山市の好きなところ：毎日、日替わりで温泉♨
- ◎村山市に住んで驚いたこと：楯山で猿に取り囲まれた🐒🐒🐒
- ◎ひとことメッセージ：1年目はなかなか気軽に人と会えない年でした。2年目はもっとたくさんの人に会いに行きたいと思います。

U
ターン

山坂 千晴

ミッション▶ 若者回帰・定着促進

- ◎出身地：三重県鈴鹿市
- ◎前住所地：東京都板橋区
- ◎村山市の好きなところ：優しい方が多く、活動を応援して下さること。
- ◎村山市に住んで驚いたこと：想像していたよりも便利な街であること。
- ◎ひとことメッセージ：市民のみなさん、1年を通じて、お世話になりました、ありがとうございました。この冊子を見て興味を持ってくださった方は、ぜひ一度、村山市に足を運んでみてください。

I
ターン



西城 舟二

ミッション▶ 居合道振興・観光プロモーション

- ◎出身地：宮城県気仙沼市
- ◎前住所地：東京都杉並区
- ◎村山市の好きなところ：山河が美しく、簡素なところ。そして子供たちが元気にあいさつをしてくれるところ。
- ◎村山市に住んで驚いたこと：雪が多い❄❄❄
- ◎ひとことメッセージ：お陰様で3年目を迎えることができました。任務最後の年、悔いを残さないような仕事をしたいと思います。

J
ターン



佐藤 洋介

ミッション▶ 起業・創業支援
『Link MURAYMA』管理、運営

- ◎出身地：岩手県奥州市
- ◎前住所地：東京都杉並区
- ◎村山市の好きなところ：人が熱い。食べ物がうまい。
- ◎村山市に住んで驚いたこと：除雪がすごい！（岩手は…）
- ◎ひとことメッセージ：Linkをぜひご活用ください！

J
ターン



●大沢川沿い夜桜ライトアップ（2021年4月）

2021年4月、村山駅西口にある大沢川沿いの夜桜が変わりました。協力隊任期中になんとか改善したいと思っていたライトアップは、知人からの紹介で幻想的で美しい夜桜をお届けすることができました。今後、村山市の観光名物の一つになると嬉しいです。

●2019年～2020年の主な活動（1～2年目）

1年目は“村山市のことを知るため”にと積極的に各種イベントや地域に足を運びました。協力隊の任務の一つでもあるイベントでは、起業創業支援事業として「初めてのドローン講座（全4回）」を企画開催。婚活事業ではこれまで前例のなかった1泊2日型で企画。県外から参加女性を募集し素敵な人も見つけてもらうだけでなく、これをきっかけに村山市を好きになってもらいリピーターとして関係人口に発展させる狙いもありました。

2年目は“カタチに残す”ことに重点をおいて活動。市内桜の名所の動画配信、ジュンサイ手ぬぐいや旧楯岡高校お別れライブ記念Tシャツを制作・販売（売上の一部は2022年オープン予定のLink MURAYAMAへ寄付）。その他、地域の笑顔あふれる街づくり事業として「245.BASE」を立上げ、2月には村山市地域おこし協力隊として初めて山形新聞で「提言」を執筆。

3年間ありがとうございました。

2021年度の主な活動（3年目）

●じゅんさい沼修景美化

じゅんさい沼の管理棟及び道路沿いに設置するため、「日除けのれん」と「のれん」、「のぼり」の制作に取り組みました。デザイン制作にあたりジュンサイについて調べていると、とっても可愛らしい花を咲かせることを知り、それをイメージした家紋風に仕上げました。ジュンサイの花は朝早くに花開きますが花芽の段階で積まれてしまうので、なかなか見ることがないのかもしれないかも。私も一度見てみたいものです。

なるけ さわこ 成毛 清和子

●ドローン空撮写真の活用

2020年7月の水害時、消防署からの要請でドローンによる被害状況確認にあたり、その時の映像はふるさと義援金など多方面で活用されました。2021年度の「村山市小学校3・4年生社会科副読本」や「ブックレットシリーズ11 村山市の災害と防災」には写真が掲載し、村山市の歴史に残る写真となりました。また、「戸沢地域パンフレット」制作では空撮写真を提供、美しい戸沢地域の風景を掲載しています。

●6次産業化の取組み

昨年度より参画している村山市6次産業化推進協議会では、東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウンでもあるブルガリア共和国の家庭料理「リュテニツァ」の試作を繰り返し、ついに商品化が決定。“村山野菜”というブランド化を狙い『村山野菜のうまみたっぷりリュテニツァ』と商品名を考え、知人にパッケージラベルのデザインを依頼。女性をターゲットとしたステキな商品に完成しました。ぜひご賞味下さい。

●全国誌で村山市を紹介

地域や移住に関心のある人や暮らしと地域をつなぐとして関東圏では定番の雑誌「TURNS」。村山市移住定住特集の広告掲載するにあたり、村山市の紹介文を移住者の目線で子育て世代をターゲットにソフトな印象に仕上げました。写真も私がこれまで撮ったものを使用していますので、本屋でぜひ手に取って見てもらえると嬉しいです。▶掲載：「TURNS 4月号」（2022年2月19日発売）



磨 恵美 (まろ めぐみ)

自己紹介

令和元年10月28日に神奈川県横浜市より移住しました。
 協力隊として令和元年の11月1日着任後令和3年12月末で退任。
 任務は農業系で農地継承と就農関係でした。
 村山市に来る前は神奈川県横浜市の観光果樹園で援農しながらブドウや柿やみかん等を3年ほど教わっておりました。
 その前は映像機器のレンタル会社やIT関連会社等で働いていました。
 趣味はインコで愛鳥の映像をYoutubeに投稿してたりします。
https://www.youtube.com/channel/UCoZyLqzYqy4m7TI9pjD4a_w/videos

活動について

市と直接の雇用関係が無い協力隊として着任し、協力隊終了後に自身が農家になり村山市で就農する事を前提に活動をしてきました。
 最終年度は就農に必要な知識や技術を学びつつ自身で農業を営み生産・出荷・販売まで行い、市内の農家さんの下で研修やお手伝いをしてきました。

活動中の受講した講座と取得した資格

ワークショップ・シナリオ作成研修

農業簿記活用講座

働きながら学ぶ果樹講座

農業機械操作技術研修

アーク溶接作業特別教育

狩猟免許(第一種・わな)

働きながら学ぶ野菜講座

農業簿記基礎講座

愛玩動物飼養管理士2級

その他

農林大学校主催講習・農協及び普及課の研修・県の協力隊の研修など



リフォーム作業



苗作りの作業



畑の準備



さくらんぼ



令和3年の活動の内容

- 1月タラの芽の手伝い、自宅のリフォーム
- 2月タラの芽の手伝い、自宅のリフォーム、大槇自宅に拠点を移す
- 3月は野菜(トマトやスイカなど)の苗づくりを体験。
- 4月さくらんぼの剪定や芽かき、啓翁桜のヒモほどき、ぶどう苗植え、引越し作業
- 5月畑の耕運やマルチかけ、里芋の植え付け、啓翁桜の余計な枝の整理、さくらんぼの防風ネットの設置、長ネギ・さつまいも等の植え付け
- 6月さくらんぼの摘果や葉摘み、出荷準備や雨除けビニールかけ、さくらんぼの収穫と出荷作業
- 7月さくらんぼ農家さんの手伝いやさくらんぼのビニールたたみや園地の片付け、里芋のマルチはがしと片付けと土かけなど
- 8月畑にビニールハウス建て、粟とにんじんの播種、栽培管理など
- 9月ハウスにビニール張り、里芋の収穫と出荷、大根の播種
- 10月里芋の出荷と後片付けとさつまいもと長ネギとにんじん(1部分)の収穫
- 11月畑の片付けと畑の一部に施肥作業、啓翁桜の園地の草刈りと収穫と紐くり、産直あそGOに野菜を数回出品
- 12月啓翁桜の収穫と紐くりと収穫した枝の運搬、大根の収穫とビニールハウス等雪対策と片付け

退任後の予定

今まで学んだ事を活かし村山市で農家として生活していけるように作物の栽培面積を増やし販売していく予定です。
 活動中にできなかったシーズンワーカー事業もすぐには出来ないまでも滞在場所の1つになれるように自宅を改修してペットも泊まれる民泊を目指そうと考えております。
 また協力隊として移住し新規就農した一例として村山市に新規就農したいと思う方々へサポートなどが出来たらと考えております。

最後に

新規就農の考えている方は村山市の農業系の協力隊は協力隊の中でも相性が良いと思います。是非協力隊制度を活用して村山市に来てくれればと思います。
 また村山市に来てこんなに短い期間で独立就農が出来たのは、協力隊としての立場や市の関係の方々・農協の方々・関わってくれた農家の方々・応援してくれたの方々のおかげです。本当にありがとうございました。
 これからも村山市民としてこの地で生活していくので、今後ともよろしくお願い致します。



ビニールハウス建て



里芋



啓翁桜



西城 舟二 (さいじょう しゅうじ)

居合道演武 (全日本剣道連盟居合)

本年度活動報告

(1) 居合道PR活動

① 県外活動

11月28日(日)東京・有楽町で開催された「くらすべ山形! 移住・交流フェア」で居合道の演武を通じて村山市をアピール。

② 市外活動

10月10日(日)寒河江市で行われた「山形県地域おこし協力隊活動博覧会 YMG EXPO 2021」に参加。一般市民、他自治体の協力隊を対象に「ミニ居合道体験会」を行った。

③ マスコミを通じた活動

居合道体験プログラムのテレビ局を通じたプロモーション支援。

④ 個別活動

日本を離れ、海外に住む方を対象に「居合道講座」を開講した。海外に居合道を通じて日本文化が理解・普及されることを望む。

(2) 木剣体操エクササイズ®講座開講

① 木剣体操とは?

明治・大正時代に古流剣術から創設された木刀を使用する健康体操。

② 講座の内容

木刀を使った体操のみならず、現在忘れられたサムライや昔の日本人が身に付けていた合理的の身体操作法の研究と実践・稽古、そしてそのための身体作りを行っている。

③ 稽古日時・場所

毎週水曜日 19:00~21:00

(楯岡地域市民センター) ※時々休講日あり。

(3) 居合道体験プログラム商品化支援

① 安全対策・突発事案対応方法の研究

② 接客現場目線からの更なるサービス向上のための提案・実施

(4) 市の各種イベント実施支援

① 東沢バラまつり支援

② 東京オリンピック聖火リレー支援

③ 令和3年度むらやま就職面談会支援 等

(5) その他

インバウンド再開に備え、日常・居合道に関する英語その他語学の研究など



(東京での移住・交流フェア)



(地域おこし協力隊と市民との交流会)



(木剣体操エクササイズ®講座体験会)

演武者

西城舟二地域おこし協力隊員 (村山市の居合道PR担当)

令和2年2月1日着任。宮城県出身。着任以前は東京都杉並区で居住。剣道五段 居合道初段。

全日本剣道連盟居合 (制定居合) とは?

居合道には流派が多数存在し、同連盟が様々な流派から基本的な技を抽出・総合して制定した居合道。「制定居合」とも呼ばれ、12本の技で構成されている。

演武 (演武中、マスクを外させていただきます。ご了承下さい。)

本日は12本の中から、5本を演武する。

一本目「前」

〔要義〕

対座している敵の殺気を感じ、機先を制して「こめかみ」に抜きつけ、さらに真っ向から切り下ろして勝つ。

二本目「後ろ」

〔要義〕

背後にすわっている敵の殺気を感じ、機先を制して「こめかみ」に抜きつけ、さらに真っ向から切り下ろして勝つ。

三本目「受け流し」

〔要義〕

左横にすわっていた敵が、突然、立って切り下してくるのを「鎧」で受け流し、さらに袈裟に切り下ろして勝つ。

六本目「諸手突き」

〔要義〕

前進中、前後三人の敵の殺気を感じ、まず正面の敵の右斜め面に抜き打ちし、さらに諸手で「水月」を突き刺す。つぎに後ろの敵を真っ向から切り下ろす。続いて正面からくる他の敵を真っ向から切り下ろして勝つ。

七本目「三方切り」

〔要義〕

前進中、正面と左右三方の敵の殺気を感じ、まず右の敵の頭上に抜き打ちし、つぎに左の敵を真っ向から切り下ろし、続いて正面の敵を真っ向から切り下ろして勝つ。



(一本目「前」)



(二本目「後ろ」)



(三本目「受け流し」)



(六本目「諸手突き」)



(七本目「三方切り」)

地域おこし協力隊としての活動内容(2021年3月から2022年2月まで)

小関 恵子
こせき けいこ

2021.2.1 着任
Link MURAYAMAに関わる業務担当

前職は社交ダンスのインストラクター。四ツ谷のスタジオに勤務していました。試合にでたり、スタジオでレッスンをしたり。三越のカルチャースクールや企業へ出張レッスンデモンストレーションでは色々な地方に行き回っていました。

競技選手10年目に、ぎっくり腰から2度目の椎間板ヘルニア。歩けるまで1カ月かかり、踊れるようになるまで2カ月。食事と生活習慣、トレーニング方法を見直しながら治療。その後、体のことに興味を持って解剖学や食養生、按摩を勉強しています。

畑から採ってすぐ食べる野菜、みずみずしい果物、山の緑や最上川。村山での生活は心身の健康にとっても良いと日々実感しています。

ちなみに、社交ダンスは『心と体の健康』にとっても良いものです。
(私ははじめ、方法を間違えたので体を壊しましたが・・・)
小さい子どもから高齢者まで楽しめる生涯スポーツとして広めていけたらと思います！

いままで
東郷小学校 第三中学校
楯岡高等学校 卒業後上京



Link MURAYAMAはいよいよ今年7月にオープン

カフェやコワーキングスペース、ジムやシェアキッチンなど、色々な機能を持つ施設
行けば誰かに会えたり、楽しい話が聞けたり、イベントで仲間ができたり、ほっとできたり、学べたり。
人と人が、情報が、つながる場所。応援しあって、やりたいことを叶える。まるで高校のような場所になります。



楯高時代の賑やかさが
またここに戻ってきて
駅前も商店街も
みんなが元気になれるよう
考えながら進んでいきます！



Link MURAYAMA
私の母校「楯岡高等学校」が新しい施設になります

- ◆ Link MURAYAMAの情報誌「Link News」の作成
施設の様子や、イベントのお知らせをまとめて発行しています。甌葉プラザや市内地域市民センターに設置。バックナンバーは市のHPでご覧いただけます。楯高同窓生用にも作成して、同窓会誌と一緒に郵送しました。
- ◆ SNS(Facebook, Instagram, Twitter)を開設
解体前の校舎、Linkの工事状況などに加えて、楯岡商店街の様子や、村山の観光スポットなどを載せています。オープン後に皆さんにご案内できるように、ぶらぶら散歩して「みちくさスポット」を発見しているところです。おすすめありましたら教えてください！今年は、より多くの方に情報が届いて、Linkを知ってもらえるよう更新していきます。
- ◆ 取材対応
コロナ禍でのUターン移住ということもあって、着任後、いろいろな場面で取材を受けて「Link MURAYAMA」を取り上げていただきました。校舎はちょうど解体工事前だったので、校内に入ることが出来、解体前に撮影してもらえました、記念に残すことが出来て良かったです！
TUY「Nスタやまがた」 YTS「ゴジダス」 河北新報社 山形新聞
リアルな山形を発見し移住の参考にするためのサイト「real local 山形」
- ◆ 『ポールウォーキング体験会』を開催
Linkに入居するメディカルフィットネスジムの周知のためのイベントを開催しました。約30名の方に参加いただき、プロの指導の下で歩き方や姿勢を学び、東沢バラ公園内を一周しました。
- ◆ メディカルフィットネス事業に取り組む岩手県矢巾町と合同の健康イベント
岩手医科大附属病院の敷地内にある「ウェルベース矢巾」。この矢巾町の地域おこし協力隊の新田真未さんとオンラインイベントを開催しました。矢巾町からはヨガレッスン、こちらからは社交ダンスのレッスンを配信して、県をまたいで一緒に健康についての取り組みを共有しました。
- ◆ 東沢バラ公園の管理ボランティア
春のバラの剪定・追肥から、雪囲いまで参加しました。管理の大変さはもちろんですが、公園の規模の大きさと、魅力的な観光スポットだということを改めて実感しました。Linkのオープン時には、施設内でもバラを綺麗に咲かせたいと思います。
- ◆ Link入居者・利活用希望者の皆さんとのミーティング、Link内の備品の選出
- ◆ WEBライター講座・kokageの起業創業セミナー・健康ポイント事業のお手伝い など

社交ダンス
認知症の予防、健康のため、人との関りのために社交ダンスを活かしたい

- ◆ 「ソーシャルダンスをやってみよう講座」
ミラーボールがくるくる回ってとても良い雰囲気、楯岡地域市民センター多目的ホールで開催。コロナ禍に自宅でできる運動の一つとして社交ダンスの講座を開催しました。2回で約17名の方に参加いただき、いくつかリズム体操をした後、音楽に合わせてマンボを踊りました。
- ◆ 秋のバラまつりでサンバのデモンストレーション
秋のバラまつりのオープニングセレモニーで一曲ダンスを踊りました。感染拡大の影響で日程が変更になり、急遽、政策推進課の井澤さんにお手伝いをお願いして猛特訓。私の無茶ぶりにも関わらず前向きに取り組んで下さった名パートナーのおかげで無事踊り切れました。

村山市
移住者だからこそ感じる村山の良さをたくさんの人に広めたい

- ◆ スマイルプロジェクト動画
村山市のスマイルプロジェクト動画の中で、転入者への家賃補助の例として取り上げて頂きました。村山市公式Youtubeで公開されています。
- ◆ 移住定住相談会
有楽町交通会館で開催された東北6県の「移住定住相談会」に出席しました。相談にいらっしゃる移住希望の方々がどんな不安を感じているのか直接聞くことが出来、参考になりました。今後ますます首都圏からの移住希望者は増えてくると思います。対策や解決法を見つけて、移住希望者が安心して村山に来られるような提案が出来るよう勉強していきたいです。



やまさかちはる
山坂 千晴



2021年4月着任（1年目）
三重県鈴鹿市生まれ、東京都板橋区育ち
早稲田大学政治経済学部4年次 在学中（休学中）

趣味は「旅」で、時間があればどこかに出かけています。
長引くコロナ禍において、動きづらいところもありますが、折を見て、山形県内、東北中を駆けずり回っています。
村山に引っ越してきてから、「雪板」も趣味に加わりました。
スノーシューを履いて雪山に登り、シュプールを描いて滑降する瞬間は、替えがたく素晴らしいものです。
写真でもわかるように、登山も趣味になりつつあります。
去年は錦秋の月山を訪れ、その美しさに感動しました。
2022年も、山形県の魅力により深く、触れることができますように。



水墨画を想起させる雪国のランドスケープ

「若者回帰」に関する活動

山形県立村山産業高等学校の流通ビジネス科・機械科と連携し、「焼き芋プロジェクト」を実行しました。
私が市内で栽培したさつまいもを使用した焼き芋を販売するにあたり、機械科と「焼き芋焼き機の開発」に、流通ビジネス科と「広告宣伝」「実地販売」を行いました。



さつまいもの栽培
(市内大倉)



焼き芋焼き機製作風景
(機械科)



チラシのデザイン
(流通ビジネス科)



ねっとりあまーい焼き芋
(品種は安納芋)



村産生とばしゃり



機械科のみんな



農作業風景



実地販売の様子
(村産校前にて)

「定住促進」に関する活動

首都圏の若者、特に大学生とのつながりを活かして、村山市のファンづくりを行いました。
市内での滞在拠点の提供、体験コンテンツの提供、住民とのつながりづくり、地域課題の共有など、
村山市の魅力や関わりしるに気づいてもらうための素地を準備しました。



みんなでスノーボード！



BBQ！！



村山市のファン向けの
オンラインイベントも開催！



援農の様子

その他の活動

定められている活動以外にも、持続可能な地域おこしの実現に向けて模索する取り組みを行いました。



楯岡商店街「早川食堂」2階バースペースの活用
1日間借りて「スナックちはる」開催（7月）



廃棄される受粉樹さくらんぼを収穫&販売
県内・県外ともに売れ行き好調（5月）



ファン人口交流拠点「B.BASE」にて
各種イベント／ワークショップ開催



各地への視察など

プライベートちょい見せ



雪板をはじめ、雪遊びにはまっています。



四季の移ろいが本当に美しく、次の季節が楽しみ。



1年間を通じて、本当にたくさんの方にお世話になりました。ありがとうございました。
来年度は、今年度以上に暴れ回る予定です。温かい目で見守っていただけると嬉しいです。

佐藤 洋介 | さとう ようすけ

令和3年7月に地域おこし協力隊になりました。岩手県出身、前住所地は東京都です。前は農林水産省の職員で、平成28年から3年間、村山市政策推進課長として出向しました。一度、霞が関に戻りましたが、現場で事業に取り組むやりがいや楽しさが忘れられず、農林水産省を退職して戻ってきました。改めましてよろしくお願いたします。

Link MURAYAMAの検討

村山市役所に出向したのは、ちょうど楯岡高校が閉校した直後でした。当面は楯岡小学校の仮校舎として使われることになっていましたが、その後の用途は未定。何度も校舎を見に行き、利活用に関心を持っていただいた方々を案内しているうちに、本当の母校よりも詳しくなりました。

楯高跡地の検討の仕事は、私にとってやりがいがあつて楽しいものでしたし、村山市に戻りたいと考えるようになったきっかけです。

協力隊として着任してからも、日々、地域活性化の拠点となるよう準備をしてきました。

Link条例案の作成

公の施設を設置する場合、必ず条例を制定することになっています。舘葉プラザやスポーツ施設、地域市民センターなど、市内にはたくさんの施設がありますが、Link MURAYAMAは公共利用と民間利用が共存することが大きな違いです。双方が連携した官民協働の拠点になるよう、条例を検討しました。

工夫した点が2つあります。

1つ目は、施設の運営者(=市)の役割を明確に書いたことです。にぎわいを生むため施設の利用者の相互の交流を促すこと、経済効果を生むため施設の利用者が行う事業や活動を支援すること、そして施設の利用者と地域の皆さんをつなぐ役割を果たすことなどです。こういった規定はあまり前例がないので、市役所内での条例審査会でも様々な意見が出ましたが、市の意気込みを示すため、規定を盛り込むことになりました。

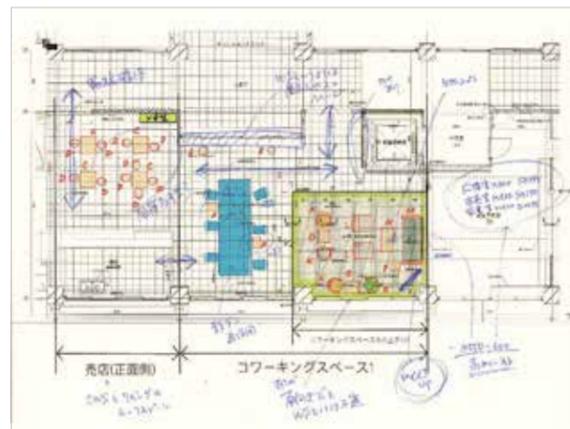
2つ目は使用料についてです。一般的な施設使用料は、市外の人や営利目的の人に対しては割増しにすることが多いです。しかし、Link MURAYAMAは、市外の人も営利の人も、ぜひ積極的に使用して欲しいので、割増し規定は削除しました。

条例案は、市議会で全会一致により可決していただきました。課長のときに条例の制定・改正はほぼなかったもので、貴重な経験でした。

より使いやすい拠点に

施設内に置く備品の検討もしました。特に時間をかけたのはコワーキングスペースです。入居希望者さんに教えてもらったABW(Activity Based Working:働く人が仕事をするために最適な場所を自分で選ぶことができる働き方)の要素を取り入れました。

集中したい人向けの1人用スペース、資料や道具を広げられる机のスペース、複数人で打ち合わせができるスペース、リラックスできて雑談が生まれるようなスペース…。新しい発想が生まれたり、仲間を見つかけたりできるよう工夫したつもりです。



より使いやすい施設になるよう備品を検討

Linkの情報発信

Link MURAYAMAがどういった施設になるのか、情報発信にも取り組んでいます。

小関隊員が担当しているSNSやLink Newsでの発信に加えて、私は少しお堅い方面で発信をしました。

■地域活性化におけるコワーキングスペースの役割に関する考察
(東北芸術工科大学紀要 第29号(共著)印刷中)

■人をつなぐ 街が輝く
「リンクむらやま」、廃校の再出発 活性化へ総力戦
(R4.2.23 山形新聞 提言)

■村山市の展望 -Link MURAYAMAで実現したいこと-
(R4.1.17 村山市商工会地域活性化セミナー)

■コワーキングスペースによる地域創生
- 山形県村山市での実践から -
(R3.9.18 地域デザイン学会地域部会研究会)

今後、入居する事業者さんの御紹介や施設内覧会などを予定しています。ぜひご確認・ご参加ください。

むらやま あきんどチャンネル

村山市商工会さんから依頼いただき、YouTubeの「むらやま あきんどチャンネル」に出演しています。

ナビゲーターとして市内のお店に伺い、こだわりの商品・サービスや店主の想いを紹介するものです。

この経験を活かして、Link MURAYAMAで市内のお店の案内をしていきたいと思っています。



ぜひチャンネル登録お願いします！



協力隊任務の外での活動

■人と地域を幸せにする香り

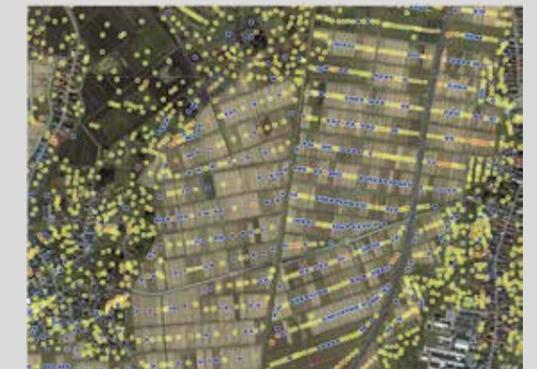
薔薇のまち村山で、薔薇の香りを「産業」にするべく、栽培・加工・販売に挑戦しています。6月の早朝に行う花の収穫は、幸せな香りに包まれての作業です。地域の大事な農地を守りたいという想いも持って取り組んでいます。



ブルガリアから取り寄せた“香りの薔薇”ダマスクローズ

■農地政策の研究員

農林水産省の政策研究に引き続き携わっています。日本の農業には、農業者があちこちに分散した農地を利用しているという課題があります。この状況を“見える化”し、農地集約を進めるための研究をしています。



農地の利用状況を示した地図

全国農地ナビ、画像©2022, CNES/Airbus, Maxar Technologies, Planet.com



居合道（居合振武館）



生地：ホワイト



生地：ネイビー

楯岡高校記念Tシャツ



にぎわい創造活性化施設『Link MURAYAMA』

令和4年2月作成
村山市地域おこし協力隊